

第2学年1組 国語科学習指導案

平成29年11月14日(火) 第2校時

場所 西郷小学校 2年1組教室

1. 単元名 おもちゃ図鑑をつくろう
 ～説明の仕方に気をつけて読もう～
 ～わかりやすく説明しよう～

2. 教材名 「しかけカードの作り方」(光村図書：2年下)
 「おもちゃの作り方」(光村図書：2年下)

3. 単元の目標

- ◎進んで説明の仕方の工夫を読み取り、学習したことを生かして、わかりやすくおもちゃの作り方を説明しようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】
- ◎時間や事柄の順序や大事な言葉を読み取り、わかりやすい説明の工夫を見つけながら読むことができる。 【読む能力】
- ◎わかりやすい説明の工夫を用いて文章を書くことができる。 【書く能力】
- ◎順序を表す言葉もちいて書くことができる。【言語についての知識・理解・技能】

4. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
・進んで説明の仕方の工夫を読み取り、学習したことを生かして、わかりやすくおもちゃの作り方を説明しようとしている。	・時間や事柄の順序や大事な言葉を読み取り、わかりやすい説明の工夫を見つけようとしている。 ・必要となる知識を得るために本や文章を選んで読んでいる。	・自分の考えが、明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考え書こうとしている。 ・書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合っている。	・順序を表す言葉もちいて書いている。

5. 基盤

(1)教材について

本単元は、学習指導要領において、内容：B書くこと及びC読むことに当たる。

- | | |
|-------|---|
| B書くこと | (1) イ 自分の考えが、明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。
ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。 |
| C読むこと | (1) イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。
エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。
カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。 |
| (2) ウ | 事物の仕組みなどについて説明した文や文書を読むこと。 |

本教材「しかけカードの作り方」は、児童の興味をそそる題名からなり、まず始めに実際に作ってみたいと思わせるものである。本文の構成として、1 材料と道具、2 作り方、3 使い方となっており、児童の関心はまず、2 作り方に集中するであろう。2 作り方では、●接続詞「まず・つぎに・それから・さいごに」という言葉、また●写真、●長さ、●何のための工程かなど、物事の説明には欠かせないわかりやすい説明のポイントが使われている。児童はこれらの工夫を読み取り、叙述に沿ってしかけカードを実際に作ることにより、書かれていることを正確に理解するという体験もできると考える。

「おもちゃの作り方」では、わかりやすい説明のポイントを読み取ったところで、それらを使っておもちゃの作り方を書く事を言語活動として設定する。最初から自分で説明書を仕上げるといった困難さもありながら、絵を描く工程での思考も大切に、人に伝わる喜びを期待した自分だけの説明書ができると考える。

人と人とのコミュニケーションを図るうえで、自分の意思を明確にわかりやすく伝え合うためには、接続詞の習得や文の構成などの理解が学習可能な大変有意義な単元であると考えられる。

(2) 指導について

① 全体へ

一次では、まず、教材文「しかけカードの作り方」に興味を持たせたい。そこで、単元の導入で、クイズを行い、簡単な料理、おもちゃなどの材料と作り方のみを提示して、どんなものが完成するかというクイズを行い、自分たちの身の回りには作り方の説明書がたくさんあり、一番身近な図書館にもそれらの本があることに興味を持たせる。そこで単元を貫く言語活動「おもちゃ作りの説明書をつくろう」という課題を提示し、そのためには書き方を知らなければならないという必要性を感じさせる。また、生活科とも関連させ、自分の力で完成させたものを1年生にプレゼントしようという相手意識も持たせて取り組ませたい。

教材文「しかけカードの作り方」については、次の手立てをもって授業にあたる。

◎並行読書により、わかりやすい説明のポイントⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴの習得を図る。

Ⅰ：写真も必ずと言っていいほど掲載されていることを知る。

Ⅱ：殆どどの本では、「①」「②」「③」が「まず」「つぎに」「それから」などの接続語に値することを知る。

Ⅲ：数・大きさなどを表す言葉が使われていることを知る。

Ⅳ：注意書きや、なぜそうするのかの表現に注目する。

Ⅴ：どの作り方にも〈材料×作り方〉などのまとまりに書かれてある事を知る。

身の回りにある作り方の本もこれらのポイントが使われていることを見つけていくことで、わかりやすい説明の仕方が実感できると考える。

◎ペア学習により、一人一人の言葉の表出を確保する。

言葉を発することで、自分の考えをより確かなものにしたり、身近な友達との交流を図ったりしたい。また、少人数での学びあいから全体発表を行うことで、学習への参画意識が高まり主体的に学ぶことができると考える。

これらの手立てを考慮して授業を展開していくことで、「読む」ことに苦手意識をもっている児童も、「わかった!」「1つでも(ポイントが)見つけられた!」など実感がわき、「読む」事に関して前向きな手ごたえを感じさせていきたい。

第三次は、おもちゃの説明書を「書く」ことの実践である。前時で学習した「わかりやすい説明のポイント」を掲示し、その都度意識付けながら、おもちゃの作り方説明書を作成していく。本单元において24人が色々な場面で「わかった」「自分の意見が言えた」「わからないと言えた」「書くポイントがつかめた」「説明書が書けた」など、達成感のある授業を展開していきたい。

②本校の研究との関わりについて

本校の研究の重点は、「児童の情報活用能力を高める」ことである。

本单元の中でめざす児童の姿は、

- ・ 図書を進んで活用し、自分の欲しい情報を選ぶことができる。
- ・ 他者と関わることで、考えを聞きあったり表現したりして思考を深める。

本单元では、このようなめざす児童の姿が見られるように以下の工夫を行い、その検証をする。

1、学習意欲が高まる、導入の工夫
・ 身近な作り方の本から出題するクイズ。
・ 児童の思いや言葉を大切にし、学習課題を設定する。
2、「情報の分類・整理・選択」段階における学習活動の工夫
・ 並行読書による、実感をともなった知識習得の強化。

身近な本から情報を選択する場面においても、思考力が異なる児童同士をペアに、また、既習の单元において文章を読み取り段落を理解できなかった C 評価の児童も考慮して編成を行う。そのような少人数での話し合いの場を設けることにより、自分から発信できにくい児童は自分の考えを述べられ、発信した児童はより考えが明確になるのではないかと考える。そして互いに考えを聞きあうことでそれぞれの思考が深まったり考えが整理できたりすることも期待されると考える。

6. 単元計画（全12時間 本時 4/12）

次時	ねらいと学習活動	教師の支援	評価				
			関	読	書	言	評価規準【評価方法】
第一 次 ①	<p>「おもちゃずかん」を作るまでの学習の見通しを持つことができる。</p> <p>①クイズを楽しむ。</p> <p>・ これらの材料と作り方で何ができるのだろう。（たまごやき・コトコトかめさんなど）</p> <p>・ 「おもちゃずかん（個々ではおもちゃの作り方説明書）」を作るためには、まず、わかりやすい説明の仕方を勉強することが必要だということに気づく。</p>	<p>・ クイズを行い、身の回りには、説明書が沢山あることに気づかせる。</p> <p>・ 意欲的に取り組めるように児童の言葉から学習課題を設定する。</p> <p>「材料・作り方・使い方」を分け、それぞれの部分のおおまかな内容と役割をとらえる。</p>	○				<p>クイズを通して、身近な作り方説明書にふれ、興味関心をもっている。</p> <p>【発言・観察】</p> <p>学習のめあてがわかり、見通しが持っている。</p> <p>【発言・観察】</p>

第二次	<p>事柄の順序を捉え、写真と文を対応させながら読むことができる。写真・接続語</p> <p>②作り方の文と写真を対応させ順番に並べる。</p> <p>③説明文「しかけカードの作り方」を読んで、作ってみる。</p>	<p>・写真の順序を考えさせたり、説明文と組み合わせたりすることで、写真の効果に気付くことができるようにする。</p> <p>・作る際に、何回も読み返すや大事なところに赤線を引くようにし後で注目できるようにする。</p>	○	○	<p>事柄の順序を捉え、写真と文を対応させながら読んでいる。</p> <p>【発言・ワークシート】</p> <p>順序を表す言葉の意味を理解している。</p> <p>【発言・ワークシート】</p>
	<p>文章を読みながら、わかりやすい説明のしかたを見つけることができる。</p> <p>数、大きさ・注意書き・まとめ</p> <p>④⑤教材文「作り方」で、どのような表現が説明をわかりやすくしているか考え、説明のポイントを整理する。</p>	<p>・ワークシートで前時に線を引いたところを発表し合いながら、説明のポイントを整理する。</p> <p>・「材料・道具」「使い方」が書いてあるよさを話し合い、その役割について理解を深められるようにする。</p>	○	○	<p>文章を読みながら、説明の工夫を見つけている。</p> <p>【発言・ワークシート】</p> <p>文のまとめりについて、よさを理解している。</p> <p>【発言・ワークシート】</p>
	<p>わかりやすい説明のしかたを身近な図書の内容から見つけることができる。</p>				
	<p>⑥教材本文で使われていた、⑥本時わかりやすい説明のポイントを本文から見つけ、わかりやすい説明のポイントのよさを実感する。</p>	<p>・説明のポイントがわかりやすく書かれてある図書を用意しておく。</p> <p>・見つけた説明のポイントに付箋を貼るようにする。</p>	○		<p>・必要となる知識を得るために本や文章を選んで読んでいる。</p> <p>【発言・ワークシート・付箋】</p>
	<p>おもちゃ図鑑を書くために説明するおもちゃを決め、学習の見通しをもつことができる。</p> <p>⑦1年生にプレゼントするおもちゃ図鑑で説明するおもちゃを決めている。</p>	<p>・これまでに作ったおもちゃを想起させ、自分が説明したいおもちゃは自由に選ぶようにする。</p>	○		<p>・相手意識をもって説明したいおもちゃを選んでいる。</p> <p>【発言・観察】</p>
	<p>わかりやすい説明のポイントがどのように使われているか確かめることができる。</p> <p>⑧教科書の「けん玉の作り方」</p>	<p>・わかりやすい説明のポイン</p>	○		

第三次
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫

<p>を読んで、わかりやすい説明のポイントが使われているか確かめる。</p>	<p>トを見つけやすくするために、チェックリストを準備する。</p>				<p>・チェックリストを用いて確かめている。 【発言・チェックリスト】</p>
<p>わかりやすい説明のポイントを使いながら、まとめや順序を考えて作り方の文を書くことができる。</p> <p>⑨⑩おもちゃの説明書を書く。</p>	<p>・順序を表す言葉が書かれたワークシートを用意する。</p>			○	<p>・説明のポイントをいながら、まとめや順序を考えておもちゃの作り方を書いている。 【発言・ワークシート】</p>
<p>友だちと説明書を読み合い、わかりやすいポイントに気付くことができる。</p> <p>⑪書いた説明書を読み合う。</p>	<p>・チェックリストを用意し、友達の説明書のよさをみつけやすくする。</p>				<p>・友だちの書いた説明文のわかりやすいポイントに気付いている。 【チェックリスト・観察】</p>
<p>まとめや順序を考えて説明書を書くことができる。</p> <p>⑫説明書を完成させる。</p>	<p>・「材料」「作り方」「使い方」のまとめが理解しやすいように、色違いの付箋で書くようにする。</p>			○	<p>わかりやすい説明のポイントを使いながら、おもちゃの説明書を書いている。 【おもちゃの説明書】</p>

7. 本時の学習 (6/12)

(1) ねらい

◎説明のコツを身近な図書の内容から見つけることができる。【読む能力】

(2) 本時の展開

時	学習活動と 児童の反応	教師の支援と 評価
<p>導入 (15分)</p>	<p>ミニ漢字テストを行う。 音読を行う。</p> <p>1、前時までの学習 (説明のコツ) を振り返る。 ・「まず・つぎに・さいごに」(接続詞) が使われている。 ・「2本・4センチ」(数、大きさ) が使われている。 ・写真があるとわかりやすかった。 ・「こうすると」(注意書き) は、やり方が書いてある。 など</p> <p>2、課題をつかむ。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>身の回りの本で説明のコツが使われているか、確かめてみよう。</p> </div>	<p>◎児童の実態に合わせ、授業をパターン化している。</p> <p>○前時までに行った、説明のコツを復習する。</p> <p>○コツの中でもポイントをしばって取り組めるように印をつける。</p> <p>○身の回りにある作り方の本では、同じような説明の仕方になっているか、疑問を投げかける。</p>

<p>展開 (22分)</p>	<p>3、本の中の説明のコツを見つける。</p> <p>1人学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ①②③・・・と書いてある。これは順序のことだな。 300グラムと書いてある。 20分煮ると書いてあるのは、 <p>ペア学習</p> <ul style="list-style-type: none"> わたしは、4こコツを見つけたよ。 写真はわたしの本にも友達の本にもあるよ。 どの本にも沢山コツが使われてあるね。 <p>4、全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○説明のコツがわかりやすく書かれてある図書を用意しておく。 ○見つけた説明のコツに付箋を貼るようになる。 ○4つのコツが全て見つけられるようにする。 ○友だちと付箋を貼った所を伝え合う。 <p>★必要となる知識を得るために文章を選んで読んでいる。</p> <p style="text-align: right;">【発言・ノート・附箋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○付箋の貼ってある本を紹介しながら、沢山のコツが使われてあることを紹介する。
<p>まとめ (8分)</p>	<p>5、ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コツが沢山みつかってうれしかった。 ・身の回りの本にもコツが沢山使われてあった。 ・〇〇さんは、ちがうコツを見つけていた。 など <p>6、次時への見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○説明のコツをみつけられたことを大いに褒め、達成感をもたせる。 ○めあてに合ったふりかえり、ともだちのがんばりを書いている児童のふりかえりを紹介する。 ○次はいよいよ説明のコツを用いて説明書を作ることを確認する。

(3)本時の評価規準

	十分満足できると判断される児童の具体例	概ね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への手立て
読む能力	わかりやすい説明のコツを意欲的に全て見つけ出し、更にわかりやすいコツを探して説明している。	図書から説明のコツ「順序」「写真」「まとめり」「注意」をみつけることができている。	前時の学習の掲示から、説明のコツを確認するようになる。

8、研究の視点

◎身近な図書から説明のコツを見つける活動は、説明のコツを確実に身に付けるうえで効果的だったか。